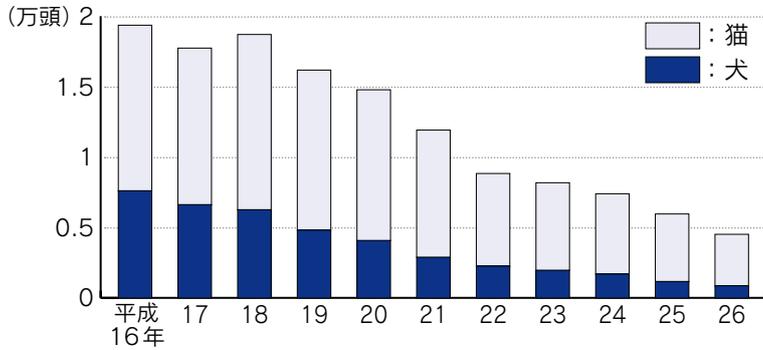


【福岡県における犬・猫の殺処分数推移】



平成16年
犬：7,595頭
猫：11,746頭
計：19,341頭

平成26年
犬：853頭
猫：3,649頭
計：4,502頭

◆着実に減りつつある殺処分数。しかし、殺処分ゼロにはまだ遠い。
なお、平成26年度の全国の殺処分数は、犬2万1593頭、猫7万745頭、合計10万1338頭となっている。

(出典：福岡県『福岡県における犬・猫の収容状況等』、環境省『平成26年度動物愛護管理行政事務提要』)

ペットを飼うことは 命に責任を持つこと

引き取られたペットの運命が苦痛の死であることを知ってか知らずか、簡単に保健所に引き取りを要求する飼い主は後を絶ちません。

「こういつたことを減らすためには、ペットを飼う前に、終生飼養、つまり一生養うことができるかをしっかりと確認し、ペットの命に責任を持つことが重要なんです」と強く訴える植中係長。

植中係長は、ペットショップなどで容易に犬や猫を手に入れることができる現状が、命を預かる責任の希薄化に繋がっていると指摘します。

「ペットを飼うときは、『かわいい』という一時の感情だけで飼育を決めるのではなく、本当に一生の面倒を見ることができているのか、家族を含めてしっかりと確認することが大切です。」

そして、検討した結果の『飼わない』という選択肢も、命に責任を持つ大切な決断です。



column 犬・猫を飼う前に確認すること

必要な費用を確保できるか

犬・猫を一生飼育する場合、犬は約150万円、猫は約100万円が、飼育費用として最低限必要だと言われています。この他、病気などになった際はさらに費用がかかります。

毎日欠かさず世話をできるか

犬・猫の寿命は10～15年ほどです。フードを与え、ふん尿の始末、散歩などを毎日欠かさず続けることができるか考えましょう。また、犬や猫の習性を勉強し、しっかりとつける時間がありますか？

生活環境は整っているか

犬・猫を飼うには、飼育が可能な住居に住んでいることが最低条件です。特に猫は、トラブル回避や新たな猫を生まないために、必ず避妊去勢手術をし、室内飼いを検討してください。

家族は賛成しているか

ペットを飼うには、家族の理解と協力が不可欠です。飼う前にしっかりと話し合ってください。また、万が一飼い主が病気になったとき、代わりに面倒を見ることができる人がいるかも確認してください。